

# 河合町部活動地域移行(展開)説明会会議録

## I. 開催概要

- **日時**：令和7年12月20日（土） 19:00～20:30
- **場所**：町立公民館3F 研修室C
- **出席者**：（敬称略）
  - 河合町：上村教育長、中尾教育振興部長、川村教育総務課長、吉川生涯学習課長、ほか事務局2名
  - 学校：河野第一中学校長、上垣第二中学校長
  - 小5～6生、中1～2生の保護者 約80名

## II. 議事

### 1. 部活動地域移行の背景と目的

- **少子化に伴う生徒数の減少**（2010年の約450名から2026年には約300名へ減少予想）により、単独校でのチーム編成や大会出場が困難になっています。
- 教員の長時間労働を解消する**働き方改革**の一環として、休日の部活動を地域へ移行することが求められています。
- 子供たちが将来にわたり、継続的にスポーツや文化活動に親しめる**持続可能な環境を確保**することが大きな目的です。
- これまでの学校教育としての活動を、地域全体で子供たちを支える**生涯学習の場**へと転換していく考えです。

### 2. 令和8年度からの運用方針

- 平日は「学校部活動」として、教職員の指導のもと、原則として各学校の施設で活動します。
- 休日は「地域クラブ活動」として、地域が主体となり、地域の指導者（人材バンク登録者等）が指導を行います。
- 休日の活動は**希望者のみが参加する形態**となり、土日のうち週1回（月4回程度）、1日あたり4時間以内を基本とします。
- 活動場所は、町内中学校や町の施設（総合グラウンド等）が利用されます。

### 3. 各種目別の実施形態（令和8年度～）

- **両中学校に共通する種目**（ソフトテニス、卓球、吹奏楽）：原則として学校別に地域クラブを募集しますが、人数が極端に少ない場合は合同活動の可能性があります。
- **片方の中学校のみにある種目**：
  - 第一中学校：野球、バドミントン[女子]、バレーボール[女子]（第二中学校からも募集可能）

- 第二中学校：陸上（地域クラブ「河合走愛」へ移行）、剣道（地域団体「剣友会」へ移行）
- **大会参加：**移行期の経過措置として、現1・2年生が参加する令和8年度の県総体・新人大会等は、教員の引率により「学校部活動」として出場する方向で調整されています。

#### 4. 費用・保険・送迎について

- **会費（受益者負担）：**月額3,000円程度を上限として検討中ですが、参加人数や国の補助金状況により変動する可能性があります。
- **保険：**平日の活動は従来の学校のスポーツ保険が適用されますが、**休日の地域クラブ活動については別途保険への加入が必要となります。**
- **移動手段：**休日活動への参加に伴う移動は、**各家庭の責任による送迎を基本とし、徒歩や自転車、公共交通機関の利用も想定されています。**

#### 5. 主な質疑応答と今後の課題

- **指導者の質と安全面：**地域の指導者に対しては、奈良県教育委員会等が開催する研修を通じて、技術指導だけでなくハラスメント防止やコンプライアンスに関する理解を深めさせます。
- **指導者の確保：**現在、人材バンクを通じて指導者を募集中ですが、一部種目（ソフトテニス、卓球など）では確保が難航しており、引き続き募集と調整が行われます。
- **生徒・保護者の不安：**平日の学校指導と休日の地域指導で方針が異なることへの懸念に対し、顧問と地域指導者の間で十分な情報共有を行うとしています。
- **実施時期の妥当性：**令和8年4月からの開始について「準備期間が短い」「人材確保が不透明」といった厳しい意見も出されました。町としては可能な範囲で調整を進め、予定通りのスタートを目指す方針です。

### III. 質疑応答の記録

#### 1. 大会への引率と陸上部の活動について

- **質問者（第一中学校1年生保護者）：**資料では「県総体と新人大会」のみ教員が引率するとありますが、それ以外の大会はどうなりますか？特に陸上部は年間通して多くの記録会や試合があり、子供たちはそれを励みにしています。地域クラブ（河合走愛）に移行した後、これらの引率は地域指導者が行ってくれるのでしょうか？
- **回答（中尾部長）：**陸上部については、令和8年度から地域クラブ「河合走愛」に活動を移行します。そこには専門の指導者がおり、**可能な範囲で記録会等への参加や引率も指導者が行う**と聞いています。ただし、全ての大会に出場できると断言はできず、クラブ内で調整が必要になります。
- **回答（中尾部長）：**陸上以外の種目については、県総体と新人大会の2つについて、教員または地域クラブ指導員が引率できるよう現在調整中です。

#### 2. 受け皿の選択肢と受益者負担（会費）について

- **質問者（第二中学校保護者）**：陸上部について、なぜ「河合走愛」一択なのですか？他の地域のスポーツクラブに行く選択肢もありますよね。また、平日は学校、休日は地域という「中ぶらりん」な状態で、なぜ月3,000円もの費用（受益者負担）が発生するのですか？行政の補助金で賄えないのですか？
- **回答（中尾部長）**：「河合走愛」以外のクラブ（上牧町のクラブなど）を選択することも可能です。
- **回答（中尾部長）**：保険については、平日の学校活動は従来のスポーツ保険が適用されます、**土日の地域活動は別途保険への加入が必要**となります。
- **回答（中尾部長）**：会費3,000円はあくまで「上限」としての検討案です。国の補助金の状況を鑑みながら、これ以下に抑えられるよう調整したいと考えています。

### 3. 生徒へのアンケートと実施時期の妥当性について

- **質問者（小学生・中学生の保護者）**：なぜ当事者である子供たちにアンケートを取らないのですか？また、国は令和13年度までの「改革実行期間」を示しているのに、なぜ河合町は準備不足が懸念される中で、令和8年度という早い時期の完全移行にこだわるのですか？
- **回答（中尾部長）**：アンケートは保護者と教職員のみでしたが、今後、学校を通じて子供たちに丁寧な説明を行っていきます。
- **回答（中尾部長）**：令和8年度開始を目指すのは、**現状の部活動を存続させるため**です。調整不足な点は認めますが、走りながらバランスを取っていきたいと考えています。

### 4. 指導者の確保と学校施設のセキュリティについて

- **質問者（同上）**：人材バンクに登録する人が、平日働きながら土日も指導するのは負担が大きく、結局「民間への押し付け」になりませんか？また、吹奏楽部などが校舎内で活動する場合、セキュリティや楽器の管理（公金の備品を民間が使う問題）はどう解決するのですか？
- **回答（教育長・中尾部長）**：指導者には時給1,600円程度の報酬を支払う予定ですが、確かに人材確保は難航しています。現在、ソフトテニスや卓球の指導者はまだ見つかっていません。
- **回答（中尾部長）**：学校施設のセキュリティや備品管理については、文科省の指針を参考にしながら、今後3ヶ月で整理・整備を進めていく非常に大きな課題です。

### 5. 平日のみの活動と大会参加の可否について

- **質問者（第1小学校保護者）**：休日の地域クラブには参加せず、平日の学校部活動だけ参加している子は、週末の大会には出られないのですか？
- **回答（中尾部長）**：土日の試合に出るために、**保険や登録の関係上、地域クラブへの所属が必要**になります。平日のみの生徒が試合だけ出ることは、現状のルールや指導体制では難しいという認識です。

### 6. 移動手段と事故時の保険について

- **質問者（保護者）**：自転車で他校の拠点まで移動する際、学校から直接行っていいですか？また、その道中の事故に保険は適用されますか？
  - **回答（中尾部長）**：平日の他校への移動については、現状では土日のみの活動を想定している種目もあり、放課後に他校へ行くことは想定していません。
  - **回答（中尾部長）**：移動中の事故については、地域クラブで加入する保険、あるいは平日の学校管理下であれば既存のスポーツ保険が適用されるよう整理します。
- 

**説明のポイント** この説明会での質疑応答は、国・行政側が提示する「令和8年度開始」というスケジュールに対し、保護者側から「指導者確保の不透明さ」「費用の妥当性」「生徒の安全と保険の細部」について多くの懸念が示された形となっています。行政側も「検討中」「調整中」という回答が多く、具体的な運用ルールは今後のホームページ等での回答に委ねられました。